

地域防災への取り組み ～災害に強い学区を目指して～

中区	小学校区・地区名	平井学区	世帯数	6,425 世帯	人口	13,433 人
----	----------	------	-----	----------	----	----------

※世帯数及び人口は令和 4 年 4 月 1 日現在

■はじめに

平井学区は、操山の南西端の斜面及びその麓一帯を北端として、そこから南方に広がる平野部に位置します。かつて運河だった倉安川も東西に流れています。

■組織概要

平井学区安全・安心ネットワークは、防犯と交通安全、防災、環境美化、地域福祉、健康づくりの 6 つの活動の活動を行っています。朝夕の子どもの登下校の見守りや青パトによる夜間のパトロールも実施しています。また、近い将来発生が予測される南海トラフ地震や豪雨などによる自然災害に迅速に対応することができる「災害に強い平井学区」をめざして活動をしています。

■活動紹介

【防災活動】

毎年、学区住民による 300 人規模の防災訓練を行っています。訓練によって、地域住民の避難行動力・防災意識の向上を図っています。岡山市危機管理室、岡山市中消防署倉田出張所、中区役所などの行政機関の協力もあります。



防災訓練後の講演

【交通安全】

青パトやボランティアは黄色い帽子やベスト・たすきなど、子どもたちに分かりやすい服装で活動しています。登下校の見守りをする事で子どもたちは地域の大人たちに見守られていることを実感しています。そして、子どもたちも自分たちが気を付けなくてはいけないと考えるきっかけになっています。

【平井まつり】

（区づくり推進事業 身近な交流部門）
地域住民の交流の場になっています。



「平井まつり 2022」 平井小学校にて

■課題と展望

「災害が起きたとき、行政に全てを任せるのではなく、自分たちの力で災害に立ち向かうことが大切です。」（花岡栄太郎会長）

「誰かがするだろう」「行政が対応してくれるだろう」と他人事と考えず、まず自分たちに何ができるかを考えてやってみることが大切です。

地域の防災活動に関わるリーダー養成や人材の育成を通して、人と人が繋がりが合い、地域力が向上しつつあります。

これからも、災害に強い学区、地域力の高い学区を目指し活動していきたいと思ひます。